

奨励賞



日野



栢澤



安原

設計者

日野 雅司
栢澤 麻利
安原 幹

■ 東京建築士会、(株) SALHAUS 一級建築士事務所

■ 東京建築士会、(株) SALHAUS 一級建築士事務所

■ 東京建築士会、(株) SALHAUS 一級建築士事務所

公共施設

群馬県伊勢崎市西小保方町

群馬県農業技術センター

構造・階数	敷地面積	建築面積	延床面積	竣工
鉄骨造、一部木造 地上2階(本館)、地上1階(会議棟)	123,255㎡ (内建設用地 11,610.82㎡)	本館 1,497.43㎡ 会議棟 421.12㎡	本館 1,969.90㎡ 会議棟 385.47㎡	平成24年11月9日(本館) 平成25年1月24日(会議棟)



- A 外観(夜景)
 B エントランス。梯子状の棟梁上のトップライトより自然光が入る
 C 事務室。間接照明による天井からの反射光と、LEDスタンドにより明るさを確保している。窓の外には会議棟が見える
 D 倉庫等のボリュームで緩やかに仕切られた2階の多目的スペース
 E 会議棟の軒下より本館方向を見る。緩やかにカーブした軒先がイベント広場を取り囲む
 写真撮影…矢野紀行



選評

群馬県内に分散していた農業技術研究所を1カ所に統合したセンター施設である。

本館と会議棟の二つの建物から成り、農業技術に関連した研究施設、実験室、事務室、図書室、会議室などのさまざまな機能が、一つの巨大な吊屋根の下に配置されている。実験室や研究室のように閉じた諸室は鉄骨造2階建ての建物内に納められ、事務室や図書室のような開かれた空間は大屋根の下に分散的に配置されている。

この建築のデザインの最大のポイントは、県産の小断面杉材を格子状に組んだ「格子膜構造」による吊屋根である。建物の中央長手方向に溝型鋼を梯子状に組んだ棟梁を通し、これをスチールパイプ柱によって支持し、梯子状の棟にはトップライト

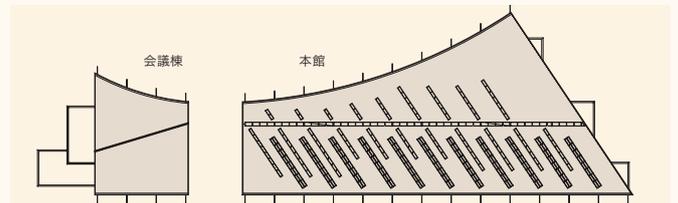
と換気装置を組み込んでいる。不定形平面の長手方向両端に沿ってH型鋼を横使いにした軒桁を通し、鉛直力をスチールパイプで、横力を鋼製ロッドで支えている。この棟と軒の間に木造格子膜構造の屋根面を架け渡し、屋根面にトップライトや屋根一体型の太陽光発電パネルを組み込んでいる。平面計画、構造計画、環境計画が統合された、きわめて明解な建築である。

しかしながら、当初意図されていた内外空間の連続性や軽快な屋根は、十分に実現されていないように見える。その理由は、屋根勾配を確保するために、棟高が必要以上に高くなり、その結果、室内空間の求心性が強まると同時に、軒方向への水平な開放性が弱まったためだと思われる。

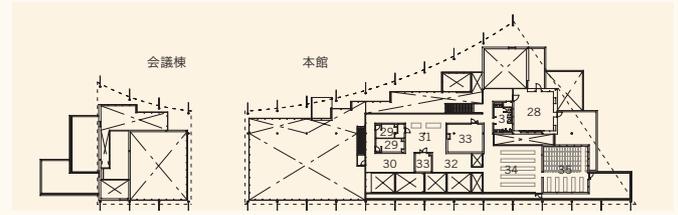
(難波和彦)



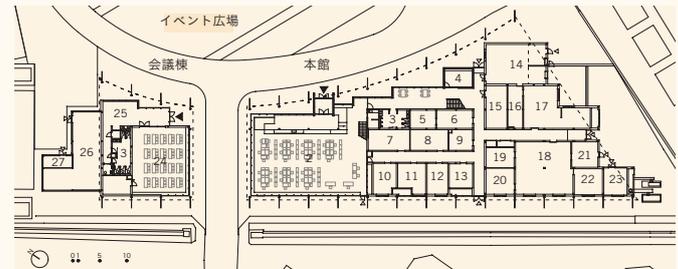
C



屋根伏図



2階平面図



1階平面図

- | | | | | | |
|-----------------------|-------------|------------|-----------------------|-------------|----------|
| 1. 技術相談コーナー/
玄関ホール | 7. 恒温温室 | 14. 加工試作室 | 21. 土壌冷蔵室 | 27. 肥料農薬庫 | 34. 開架書庫 |
| 2. 事務室 | 8. 機器分析室1 | 15. 加工資材室 | 22. 分析前処理室 | 28. 中会議室 | 35. 集密書庫 |
| 3. トイレ | 9. 試薬室 | 16. 食品冷蔵室 | 23. ドラフト室 | 29. 更衣室 | |
| 4. 小会議室 | 10. クロマト分析室 | 17. 食品実験室 | 24. 大会議室 | 30. 休憩コーナー | |
| 5. 試料保管室 | 11. 機器分析室2 | 18. 土壌分析室1 | 25. 展示コーナー/
エントランス | 31. 多目的スペース | |
| 6. 天秤室 | 12. 元素分析室 | 19. 土壌分析室2 | 26. 小道具・調査用具庫 | 32. 作業スペース | |
| | 13. 乾燥機室 | 20. 土壌分析室3 | | 33. 倉庫 | |

E